

その他の食料品製造業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	1階がんも製造ラインで清掃中、清掃用具を落とし拾おうとして屈み、起き上がった時に、頭部の左側を記録表等を置く台にぶつけ、骨折を負った。	61	100～299
1	10～11	施設食堂ホール内を昼営業前の準備で歩いていたとき、新品に取りかえたばかりの指定靴のサイズが少しゆるくて靴の中で足が動き、ぐきっとよじれた形になってしまった。ホール床は絨毯であり、靴のサイズは合っていたが幅が広がったと思われる。	66	—
1	10～11	ランドリー室に脚立を取りに向かう途中、扉の枠の角に左足の小指をぶつけてしまった。	41	50～99
1	14～15	派遣社員が、毎月行われる工場内清掃業務のとき、タンク内を掃除機で清掃後に高さ2mの場所から掃除機を降ろす際に、隣接している柵に右肘を接触させ負傷した。	35	30～49
2	9～10	営業で外出する時に、事務所の入り口のガラス製の扉の前で躓き、ガラスの扉に激突した。割れたガラスの破片により、左胸に怪我をした。	33	—
2	10～11	製造2課盛付室にてAが作業車Bの後を移動中に作業車Bが急に振り返った。その際肩が接触したためよろめき転倒しそうになり、顔面と腰背部をコンベア台にぶつけて打撲した。	66	100～299
2	5～6	1階の仕事場（野菜処理室）から2階トイレに行ってみようとした時、最後の階段を踏み外して右足の甲を骨折する。	53	100～299
		校内の廊下で給食を配膳する食缶の回収作業を行っている際に、配膳室付近の死		

2	12~13	角から飛び出して来た生徒と衝突した。その際に、その生徒が覆いかぶさり、受け身の取れない状態で後ろ向きに転倒し、全身を強打した。	52	50~ 99
3	15~16	洗浄室にてカート洗浄中、洗浄水ストッパーを閉止しようとして横に移動したとき、カート洗浄台スロープに左足を乗せたところ滑り、洗浄中のカートに左肩を強打し受傷した。	64	100 ~ 299
3	12~13	第七工場1階計量室からゴミを両手で抱えてオープンスペース側に移動していた。計量室出入口付近にあった台車に視界不良のためつまずき、台車の持ち手部分に右胸部を打ちつけ、肋骨に亀裂骨折を負った。	42	100 ~ 299
3	21~22	勤務を終えて帰宅しようとして会社敷地内の駐車場（奥舗装）へ向かい、駐車場に下りようと30cm程の段差から左足を地面に着地させた際に、地面の小石で左足を滑らせて捻り、左足踵を骨折した。	58	50~ 99
3	16~17	洗浄機の取っ手のネジを締めようと思いドライバーを取りに行き、洗い場手前のステンレス床で滑って手をついて骨折した。	51	30~ 49
4	13~14	工場包装専用室内において、午後の作業を開始しようとして準備していた時に、同僚と振り向きざまに接触して転倒し、床に左臀部を強く打ちつけた。	67	50~ 99
4	11~12	工場内、醤油詰場作業場・2階で製品出荷用ダンボールを搬出作業中に誤って頭上の鉄製の梁に側頭部をぶつけ負傷した。現場は天井部分が低く、被災者は担当業務である配送業務からはずれて工場内での不慣れな現場での作業であった。	55	10~ 29
4	13~14	作業現場へ向かう途中、エアシャワー室に慌てて入ろうとしたところ、自動ドアに左足小指を強くぶつけてしまった。	58	300 ~ 499
4	8~9	餅製造の加工場で餅の製造作業中、他の従業員がもちつき機の回転ドラムの中から小餅切り機の中へ餅を入れるとき、被災者が説明しようとして回転ドラムのハンドルに右手があたり、右手を2ヶ所負傷した。	60	1~9
4	17~	回収した空箱等を（3トン）トラックの荷台から荷卸しし、荷台から降りようとしたところ誤ってトラックのステップから足を踏み外し、右側に転び負傷した。なおトラックは、普段使用している車が故障し、代車であったので、ステップ場	53	50~

	18	所が狭かった。荷台の後ろ側から前向きでトラックのステップに右足を掛けて、降りようとした。		99
5	2~3	休憩の為、休憩室へ入ったところでふらついた状態で歩き、休憩室の椅子に気付かず右足中指をぶつけて骨折した。	26	100 ~ 299
5	22~ 23	野菜の水切りをするため遠心分離機にかけ、止めるのスイッチは押したものの完全に静止する前に蓋を開けてしまい、右手を弾かれ負傷した。	64	500 ~ 999
5	11~ 12	学校給食の配送補助作業中に、配送先の小学校で食缶の配送を終了し、運搬車の後部ドアを閉める際に約80cmの段差を飛び降りた際、着地に失敗して左足首を捻挫した。	68	30~ 49
6	10~ 11	工場内の調理室で通路からフレックスカートを右手で引いて、半製品庫へ収納しようとした時、通路途中の食器洗浄機の扉の角に左手小指をぶつけた。ぶつけた当日は痛みと腫れがあり、後日病院へ行ったところ骨折と診断された。	54	50~ 99
6	11~ 12	野菜ペーストを製造中、足が滑り、膝を機器の角にぶつけ、さらに床にぶつかった。床面の劣化が確認された為、防滑加工をした。靴の交換ルールが決まっていなかったため、ルールとチェック方法を決めた。	56	100 ~ 299
6	16~ 17	店舗盛り込みラインにて、弁当用コンテナを準備するために慌てて後ろ向きに歩いたところ、左足のかかとを作業台に引っ掛けてしまい、後ろに倒れ、後ろにあったカゴ車に右背中を打ちつけてしまい、痛みが引かず、右肋骨不全骨折と診断された。	65	300 ~ 499
6	15~ 16	第1工場にて紙巻機械で作業中、栽培ビンが倒れたため元に戻そうと、機械の床より1mの部分に上がり（通常はビンを起こす時は専用の棒で起こす）、ビンを起こして床に降りる時、右足に負荷がかかり負傷した。	43	50~ 99
6	12~ 13	午前の作業後、「立ちくらみがする感じがする」と訴え、休憩室で休んでいた。本人が1人でトイレに行った際に意識を失い、トイレ内のどこかの場所に左まぶた上をぶつけ切り傷を負った。	54	30~ 49

6	13~ 14	1F茹麵機の製品切り替え作業を行う為、2段の作業台を使用し、作業を終えて後ろ向きで降りた際、床の突起物に足を乗せてしまい、足首を捻った。	25	300 ~ 499
6	12~ 13	食器の洗浄中、洗浄機から乾燥機に移動中、近くのステンレスのシンクの角に肘を思いきりぶつけ、骨折した。	51	1~9
6	8~9	包装機のフィルムを抱えて戻ろうとした際に、棚の付近で他の人が屈んで作業をしていたので避けて通ろうとしたが、バランスを崩し、抱えていたフィルムで左膝上部を強く打ちつけた。疼痛はあったものの外傷もなかったのでそのまま就業していたが、2時間後に左膝上部が内出血の様に腫れて変色してきた。	76	50~ 99
6	15~ 16	工場顆粒包装課Cチーム具材ラインの段ボール手詰作業中に、応援で中箱折り作業を行い、中箱折り作業から、段ボール手詰作業へ戻る途中、足を滑らせたため身体が倒れないよう、保管中の段ボールの上に手をついた。	63	100 ~ 299
6	10~ 11	工場内でグルテンを右手に持ち、1階から2階へ上がろうとしたところ、最初の段に躓いた際、左手を地面に打ちつけて、左手手首を骨折した。	57	1~9
6	17~ 18	工場内の階段において、就業を終えたため帰宅しようとした際、送迎バスの時間が迫っており、急いで敷地内の階段を数段飛ばしで降りていたところ、階段を踏み外したため、右足首を受傷した。	58	100 ~ 299
7	11~12	仕出し配達を終え、会社に戻り、車から降りる際、運転席が高いのと駐車場の地面（コンクリート）が斜めになっていることで降りた時、右脚がボキッと捻ったかたちになった。外傷もないので、大丈夫だと思い、そのままだったが、日を追って痛くなり、後日パンパンに腫れ我慢できなかった。	47	10~ 29
7	10~11	2Fトイレ内で用を足した後、トイレ用スリッパを脱ぎ、体を屈めてスリッパを揃えた後、立ち上がる際にバランスを崩し転倒した。その際に手洗いの陶器製のシンクに右目をぶつけ負傷した。	54	300 ~ 499
7	16~	工場内にて、砂糖をスティックシュガーに充填し生産するラインで、充填されたスティックシュガーを100本ずつビニール袋に入れる手動の可動式梱包装置を扱う作業において、梱包装置を使い梱包する作業で、ステンレスのパーツを下方向	53	50~

	17	に可動させ、また元の位置に戻す動きの中で、右手首の内側が装置の一部に当たってしまう状態であったため、ベルトコンベアの下部の一部にぶつけ打撲した。		99
7	13～ 14	工場出入口にて、途中で止めてあるシャッターの下を通過する際、シャッター下部に頭部を打った。その後2週間程で頭痛などの不調が生じ、病院で検査を受けたところ、硬膜下血腫と診断され手術、入院となった。	64	1～9
7	7～8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	100 ～ 299
7	10～ 11	現場事務所にて、負傷者は、同僚から人事異動に伴う職務引継ぎについて、注意を受けていた。注意内容は、終えていない仕事について、期日を設けて終わらせることと、その対処についてであった。この注意は日常再々受けており、当日は感情を抑えて聞くことができなくなり、その場を早く立ち去りたいとの思いが強く、立っていた出入口付近から事務所を出ようと勢いよく振り返った際、左肘が窓ガラスに当たって破損させ、怪我をした。	47	30～ 49
9	22～ 23	炒め室の器具洗浄室内で、洗浄機（ウインターハルター）のドアを開けた状態で、屈んだまま台車を動かそうとした。機械のドアを開けたままにしていることを忘れ、屈んだ状態で前後左右の確認をしないままで台車を動かそうとしたためドアの角に右前頭部をぶつけ約3cm幅の裂傷を負った。	22	300 ～ 499
9	9～ 10	とまと選果場で3段積みのパレットの3段中、一番上のパレットを降ろそうとして、2段目（高さ30cm）から、降りる際に、着地に失敗し、右足を負傷した。	65	10～ 29
9	12～ 13	本社工場入口手前のエアシャワー室にて、エアシャワー中に足を滑らせバランスを崩し、進行方向のドアと右手側の壁の間に右手をついた際、右手小指を負傷した。	55	50～ 99
9	14～ 15	植物性廃棄物をコンテナ車の荷台（コンテナ）に投入作業後荷台から下りる際、中段足掛け場より下に足掛け場がなかったため、高さ約1.5mから後ろ向きで飛び降りた。その際着地がうまくいかず、左足の踵を強打し、転倒した、痛みがとれなかったため、業務終了後、病院で受診したところ、左足踵打撲との診断を受け	53	1～9

		た。		
10	10～ 11	2tトラックにて配達中、納品先に到着後、運転席よりおりた際、足元に先日より雨のため水溜をよけようとし右足をふんばった際に右膝に変な力が加わり、膝より異音が生じ、その後強い痛みと共に右膝が曲がらなくなり歩く事がままならなくなった。	55	1～9
10	0～1	パン（コンテナ）振り分け時の事故。パンコンテナを所定の場所に置いてまた次のコンテナを取りに帰ろうと振り向いた時に、ヨコにコンテナがあり、コンテナの淵（1cm）部分が右目に当たり眼球（膜）を怪我した。振り向き様、丁度目の高さだったために回避できず怪我をした。	38	100 ～ 299
11	10～ 11	洗浄室にて、使用した調理器具を洗浄機に流している最中、ワゴンに乗って洗浄室に流れてきた器具を焦って取ろうとしたため、右膝を作業台にぶつけ打撲を負った。3日間の療養後、本人の判断で復帰したが、膝の腫れが悪化したため再度受診し、安静にするよう指示が出た為、再度休みを取った。	57	30～ 49
11	10～ 11	本社工場内でトイレから戻って歩いている時、通路の左側にある里芋が入っているコンテナに躓いて右側の桶に寄り掛かるようにぶつかり、胸の右側の肋骨を骨折した。	72	30～ 49
11	11～ 12	米倉庫内にて歩いていてパレットが重なっている所の角に頭をぶつけて怪我をし5針縫う。	65	30～ 49
11	16～ 17	当社機材置場でダンプから降りた時に右手に作業服、左手に伝票を持っていて両手がふさがった状態でバランスを崩して尻もちをつき腰椎を骨折した。	54	30～ 49
11	11～ 12	中学校内の受入室内部にて、カーゴの片付け作業中に躓いて前方に倒れ、持っていたカーゴごと床に手をついた。その際カーゴの柵部分が左手に当たり、負傷した。	43	1～9
11	14～ 15	コンテナ受入場にて、コンテナに入っていた油を受入後、コンテナ内部の清掃をしていた。コンテナ底面は地上約1.5mある為、通常は踏み台を使用し昇降しているが、フォークリフトの動線と踏み台が重なっていたため、他の作業者が一時的に踏み台をコンテナ横から移動した。その間にコンテナ荷台から降りてしま	38	100 ～ 299

		い、その衝撃で右足首をひねった。		
11	10~ 11	休憩時間にトイレへ行こうとした際に、急いでいたため小走りで七段ある階段の一番上から下までジャンプをした。着地した際に右足を着いてから、左足で踏ん張ろうとしたところ、体重を支えきれずに転倒し、左腓骨幹部を骨折した。	29	100 ~ 299
11	16~ 17	第2工場の玄関前の缶出し作業場にて、ルールとなっている「作業時踵のある靴で底が真っ平」ではないサンダルを履き、踏み台として利用していた木のパレットから降りる際、コンビテナーを手で持とうとして積み損ない、意図しない方法で着地し、負傷した。	35	100 ~ 299
11	11~ 12	茶製造工場内で茶葉を詰めた袋（約10kg）をパレットに運ぶ際バランスを崩し、近くに設置されていたステンレス製の茶葉を受ける台にぶつかりそうになり、避けようとしたが避けきれず接触し、左手首、肋骨を骨折した。	54	50~ 99
12	9~10	シート包餡成型機（手巻きおにぎりの機械）が作業動不良をおこしたため、機械と機械の間の狭い通路を進み急いでスイッチを切ろうと思い、バットにぶつかり転倒し、左膝を打撲してしまった。	42	100 ~ 299
12	8~9	おせち包材を積んだ台車に左足が引っかかり、転びそうになり、右足を強くひねり負傷した（右足第5中足骨骨折）。	71	100 ~ 299
12	7~8	工場内階段を急いで駆け上がった際、階段を踏み外し、左足小指を強打した。	26	1000 ~ 9999
12	12~13	1F加工場で、原料の準備確認や保管サンプルを取る作業をしているときに、保管サンプルを取るためのビニール袋を別室に取りに行き、空の状態のビニール袋のみを持って、冷蔵庫に入ろうと移動しているときに、急に目の前が真っ白になった。何かに掴まろうとしたが倒れ、床に後頭部をぶつけて頭と首に痛みがあり、救急車で搬送された。	62	100 ~ 299
12	16~17	当社にて、スポンジ交換等をするため、しゃがんで作業していた。立ち上がろうとしたときに、配管の出っ張りに足を引っ掛けて躓き、近くに置いてあった台車	20	1~9

		へ顔から倒れこんだ。咄嗟に手が出ず、台車の角に歯をぶつけ、そのまま両膝を床面で強打し、負傷した。		
12	18~19	厨房内の事務室から洗浄シンクヘデイサービス用のお茶給水器を運搬中、段差で体のバランスを崩し、洗浄シンクのヘリ（縁）に左脇腹を強打した。痛みが治まらないため翌日に受診したところ、左肋骨3本の骨折とその衝撃による肺挫傷と診断された。	64	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html